

TRIM

REPORT



株主通信

第38期 第2四半期決算報告

2019年4月1日～2019年9月30日

株主の皆様へ

グローバルなメディカルカンパニーへの挑戦



株式会社日本トリム
代表取締役社長

森澤 紳勝

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。当第2四半期におきましては、健康経営®による企業一括導入の拡大、電解水透析の収益貢献の開始、再生医療分野の躍進など、各部門とも順調に伸ばいたしました。今後も科学的エビデンスの構築を通じて各事業軸をさらに強固なものとし、グローバルなメディカルカンパニーへと移行してまいります。

ウォーターヘルスケア事業 好調に推移

整水器販売においては、健康経営®を切り口としたBtoBの法人向け営業が着実に広がるとともに、販売効率も順調に推移しました。消費増税前の駆け込み需要につきましては、カートリッジ販売で多少ありましたが、整水器販売では大きな影響はありませんでした。一方、電解水素水の機能解明を目的とした産官学共同研究を鋭意進めております。その成果により、現在の販売効率

の飛躍的な向上とともに、さらにお客様に自主的に購入していただける市場環境の創出を目指します。

インドネシアのボトリング事業は、順調に伸ばしており、現地パートナーのシナルマスグループとは、2025年度に売上高170億円規模を目標として、実現のための戦略を協議中です。

医療関連事業 軌道に乗る

電解水透析事業は、これまでの研究開発の施策が功を奏し、ようやく収益に貢献できるステージに入りました。患者の方々のQOL改善とともに病院経営にも貢献できる治療として、次世代のグローバルスタンダードを目指し、さらなる研究および普及を推進してまいります。

再生医療分野では、国内最大の民間さい帯血バンクである株式会社ステムセル研究所が、月間契約検体数が

過去最高水準を維持しながら好調に推移しており、大きく躍進しております。また、グローバル展開や新規事業の展開にも精力的に取り組んでまいります。

中国の病院運営事業につきましては、まだ先行投資段階ですが、公的保険診療開始への準備等、黒字化に向けて着実に進展しております。

当社グループ全般に亘り、グローバルなメディカルカンパニーへ向けて想定どおり順調に進捗しております。創業以来変わらぬベンチャー精神をもって、M&Aも視野に、引き続き積極的に事業拡大に邁進してまいります。株主の皆様には、引き続き相変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

ウォーターヘルスケア事業

健康経営®による企業一括導入

健康経営®とは、社員の健康に投資することで生産性の改善を図り、経営の効率化、収益の改善を目指すもので、当社では、「胃腸症状の改善効果」が認められた整水器の活用を各企業に提案しております。企業に一括して導入いただくことで、電解水素水を体験後のセミナー開催による従業員の方々の購買率の向上が見込まれ、販売効率向上に寄与する施策です。当第2四半期累計の導入実績は1,055法人、1,598台と着実に広がっており、今後、さらに広げてまいります。

※「健康経営®」は、NPO法人「健康経営研究会」の登録商標です。

日本トリムの「健康セミナー」実施



電解水素水整水器

導入・斡旋

社員様のご家族



関連企業



職場・事務所



産学共同研究

電解水素水の有用性・有効性について国内外の大学・研究機関・自治体と共同研究を展開しております。

【共同研究機関】

国立研究開発法人 理化学研究所
 東北大学大学院 医学系研究科
 東京大学大学院 工学系研究科
 早稲田大学 人間科学学術院
 高知大学 農林海洋学部

立命館大学 スポーツ健康科学部
 高知大学 医学部・須崎市
 山口大学 共同獣医学部
 カロリンスカ研究所
 東海大学 海洋学部

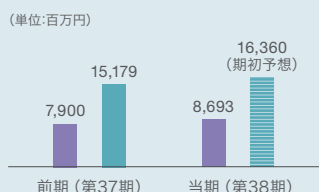


財務ハイライト 前期比較

第2四半期 ■ 通期 ■

売上高

86億93百万円



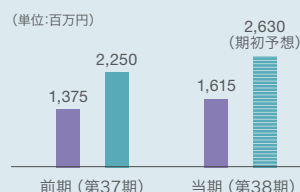
前年同期比

10.0%増



営業利益

16億15百万円



前年同期比

17.4%増



医療関連事業



STEM細胞研究所

再生医療分野では、STEM細胞研究所のさい帯血保管者数が累計5万人を超え、売上高は前年同期比で48.5%増、営業利益は同71.9%増と、業績が大きく躍進しました。自家さい帯血治療の実用化に向けた研究は国内外で進展しており、さい帯血保管の必要性と認知度も大きく上昇しております。日本国内のさい帯血保管率は約0.6%と依然低く、今後の成長産業の一つとして大変注目されております。これから急増する需要に対応できるよう、事業インフラの構築を積極的に進めてまいります。



中国 病院運営事業

中国での病院運営事業はまだ先行投資段階ですが、広報活動の強化や年内の公的保険適用など、事業拡大に向けてのインフラ構築を引き進めております。

糖尿病患者が1億人を超える中国で、治療効果の高い日本式医療への需要は確実に見込まれております。まずは北京でビジネスモデルを確立し、そこから中国各都市へ進出してまいります。



北京漢琨（ハンクン）医院

電解水透析

2018年の英国科学誌「Scientific Reports」で、死亡および心脳血管病の発症リスクが41%減少したという内容の論文発表を契機に、電解水透析の知名度と期待が着実に高まっております。現在は22施設、483床に導入され、約1,500名の患者の方々が電解水透析治療を受けられておりますが、今後は3年以内に100病院への導入を目指し、次世代のグローバルスタンダードとして普及するよう取り組んでまいります。



個人用透析システム

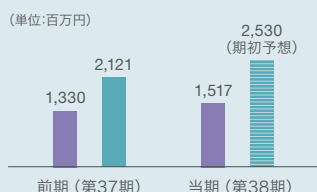
多人数用透析システム

経常利益

15億17百万円

前年同期比

14.1%増

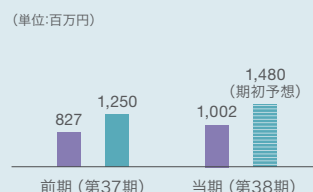


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

10億2百万円

前年同期比

21.2%増



Pick up news!



I'm fineをリニューアル発売

このたび、「カラダ還元ウォーター I'm fine」が2019年7月24日にリニューアルしました。

清浄な海で知られる高知県室戸岬の海洋深層水を日本トリムの電解水素水整水器で電気分解し、アルカリ性にしました。海洋深層水から塩分のみを取り除き、添加物を一切使用せず、自然のミネラルで調整した口当たりまるやかな軟水です。本製品は、厳しい衛生管理基準のHACCPの承認を取得した工場で生産されています。日本トリム公式ショッピングサイトにて販売しています。

I'm fine
特設サイト 



高知県表示許諾番号
12海深第17号

このマークは高知県が海洋深層水使用商品等について商標登録(第4465790号)したブランドマークです。本品は、すべて室戸海洋深層水(脱塩水と深層水ミネラル)を使用した商品です。



▶▶ 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019」にI'm fineを提供

当社では開催初年度の2006年から公益財団法人日本対がん協会主催の「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」を支援しています。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し、毎年、参加者らが24時間交代でリレーするチャリティウォークイベントにI'm fineを提供しています。今年は、25拠点に提供させていただきました。



会社情報

会社概要 (2019年9月30日現在)

商号 株式会社日本トリム NIHON TRIM CO.,LTD.
本社 大阪市北区梅田二丁目2番22号
ハービスENTオフィスタワー 22階
設立 1982年(昭和57年)6月12日
資本金 992,597千円
従業員 551名(関連会社含む)
主な事業内容 電解水素水整水器及びカートリッジ等の
製品開発・販売

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 16,000,000株
発行済株式の総数 7,895,342株(自己株式761,438株を除く)
株主数 3,890名

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び
全国各支店で行っております。
公告方法 電子公告とし、当社ホームページ(<https://www.nihon-trim.co.jp/>)に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子
公告による公告をすることができない場合、公告方
法は日本経済新聞に掲載する方法といたします。

株主優待制度のご案内

対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された
100株(1単元)以上の当社株式を保有する株主様

株主優待制度の内容

当社が販売する電解水素水整水器1台もしくは交換カート
リッジ1本の標準価格の30%の割引が適用されます。

